

# すくわくプログラム 自然をテーマに探究活動！

そらのいる保育園は、都心にありながらも都心とは思えないほど緑豊かな公園があります。特別な森へ行かなくても、足元の小さな虫や季節で色を変える葉っぱ等、身近な自然がいっぱいあり、子ども達が四季折々の季節を感じ五感を使ってのびのびと遊びながら小さな発見を積み上げていく過程を温かく見守りたいと考え、「自然」をテーマにしました。

いつも行く文庫の森では、春に桜の花が咲き、秋には色とりどりの枯れ葉が舞い落ちる。文庫の森は正に子どもたちにとって宝の宝庫です。今日も子どもたちが見つけた花や実、葉を袋に入れて園までお持ち帰り。

## 自然を使ってアートづくり

### 春を探しにいこう！！

4月



リュックの中には...  
子どもたちのお役立ちグッズ  
・容器・スcoop・ビニール袋  
・ポケット図鑑



いつも時間が経つと枯れてしまう植物。そのままの形に残せないか、子どもたちに相談すると以前使った事のある「OPPテープに貼り付けたらいいんじゃない？」と年長からの素敵な提案。「桜の花をやってみよう！！」と、拾った花びらで最初のアートづくりが始まりました。

アートづくりに必要な...

- ・OPPテープ
- ・色画用紙

10月

### 秋をいっぱい見つけたよ！！



茶色のはっぱにみどりのペンでぬったらみどりはっぱになるかなー？

みてみて！まどからみるとそらにはっぱがうかんでるみたいだねー？

秋が深まり、色とりどりに染まった葉っぱを夢中で拾い集める子どもたち。

その姿はまるで宝探しをしているようです。

以前行ったアート制作を思い出し「私、またやりたい！」「この葉っぱでもやりたい！」と期待に胸を膨らませる声が上がりました。「黄色もあるよ！」「赤も茶色もあるよ！」と、葉っぱ一枚一枚の色や形の違いに気づき、自然の変化を敏感に感じ取っている様子が伝わってきました。

園に戻り、拾った葉っぱをOPPテープに貼り付ける「落ち葉アート」を楽しみました。完成した作品を「窓に飾って～！」とお願いする子どもたち。その目は、秋の光を透かしキラキラと輝く作品の変化に、驚きと興味で溢れていました。

## 光のアート

### 振り返りによって

#### 得た気づき

「子どもたちのつぶやきを大切にしたい、アートとして形に残そう」そんな想いから始まった制作活動。春の思い出が「またあのアートを作りたい！」という意欲に繋がって、今回の「OPPテープを使った葉っぱアート」が実現しました。子どもたちがこだわりを持って並べた葉っぱ。それを窓にかざすと、秋の柔らかな光が透け、地面で見ていた時とは違う鮮やかで幻想的な表情を新たな気づきや対話が生まれ一つのアートが更なる観察へと繋がっていく様子が見て取れました。子どもの「つぶやき」を拾い上げ環境を整えることで、遊びがどこまでも深まっていく。そんな保育の醍醐味を改めて実感した活動となりました。

こどもの発想から  
つながる探究心